

# iii Exhibition 11

夢見ていますか？

## 第11回 制作展を開催いたします。

会期 : 2009年12月3日(木) - 8日(火)

会場 : 東京大学 本郷キャンパス

工学部2号館 2階展示室・2階フォーラム(中庭)・9階92B教室  
福武ホール

開館時間 : 11:00 - 19:00

入場料 : 無料

URL : <http://i3e.iii.u-tokyo.ac.jp/>

主催 : 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府

### オープニングレセプション

2009年12月3日(木)

17:30 福武ホール  
18:00 工学部2号館2階展示室  
18:30 工学部2号館92B教室  
19:00頃 懇親会

#### 【お問い合わせ】

Tel : 090-3049-2090 (制作展広報担当 平山)

Mail: [i3e@iii.u-tokyo.ac.jp](mailto:i3e@iii.u-tokyo.ac.jp)

※電話でのお問い合わせは報道関係者の方に限らせていただきます。



石田 英敬

東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授  
(学環長・学府長)

東京大学大学院 総合文化研究科 言語情報科学専攻 教授

さまざまな技術を学び、システムをつくり、表現をおこなう。「東京大学制作展」を東京大学大学院 情報学環・学際情報学府の学生たちがはじめて 10 回以上を数える。みないろいろな「表現」に挑んでいる。「技術」を学ぶ悦びがある。「アート」

を名乗るにはまだまだ足りないものが多いかもしれないが、新しい「感覚」や「センス」や「驚き」の経験がそこにはある。その「若さ」を大切にしてほしい。そして、その「感覚」を「問い」に結びつけて、さらに「思考」へと練り上げていく道筋を探りはじめてもらいたい。

電子テクノロジーを使った表現は現在「芸術の幼年期」にあると私は考えている。そのカオスから次第に秩序が生み出され、新しい「クリエイション」と「クリティーク」の地平がやがて立ち上がる。そんな予感がある。だから、東京大学の若い学生たちには、テクノロジーを学び深めるとともに、多くの芸術作品に触れ本格的な書を読んで教養を高めて、やがては真の「芸術の問い」へと歩み入ってもらいたい。



荒川 忠一

東京大学大学院 学際情報学府 教授

東京大学大学院 工学系研究科 教授

制作展担当教員

2004 年夏より始まった 東京大学 制作展 "iii Exhibition" は、今年から装いを新たにして再出発を行い、今回で第 11 回目が開催されます。この制作展は東京大学大学院情報学環・学際情報学府の講義の一環として始まり、学生が自らの手で科学

技術の中に芸術的要素を織り交ぜ、表現し発信するというコンセプトのもとで開催しております。

本制作展では、メディアアート展示という形を通じて、学生らに、本学内で得られた研究成果を作品という形でどのように発信し、ご来場いただいた皆様に楽しんでいただくことの喜びを体感させるとともに、すべての企画・運営を自らの手で行い、表現活動の様々な面を学ぶことを目的としています。学生たちにとっては、すばらしい表現の場であるとともに、自らの技術を評価していただくまたとない機会であります。

作品の見せ方や実験的な表現手法など不慣れな点もございますが、制作展を通して作品を見ていただくことの重要性を学び、学生たちの成長の糧になればと考えております。ひとつひとつの作品をゆっくりとご鑑賞頂ければ幸いです。

## 制作展とは

III Exhibition II

制作展は、2004年に東京大学大学院 学際情報学府の講義の一環として始まった学生を主体とするメディアアートの展覧会です。日々の研究で培っている技術をわかりやすく、アート作品という形で表現することを目的とし、夏と冬の年2回、東京大学の本郷キャンパス内において開催しています。

今回は「夢 見えていますか」をテーマに個性溢れる20作品を展示します。私たちが子供の頃に感じていて、成長するにたがって薄れてしまった小さな喜びを思い起こさせるような作品をそれぞれの作家が制作しました。東大生だからこそ可能な、技術とアートを融合させた表現の数々を是非ご覧ください。

作品にふれて、もう一度「夢」を見てみませんか？

## 学生がつくる制作展

制作展では、個々の作品制作に加え、会場設計から広報活動までの企画・運営を、授業担当教員の指導のもとに、すべて学生が行っています。授業時間に行う全体ミーティングでは、作品の制作者と教員を含む参加者が作品のコンセプトや技術について意見交換や各学生が受け持つ係の進捗確認を行います。運営は、全体を統括する「プロデューサー」を中心に、ポスターやチラシなどを制作する「デザイン」、プレスリリースの実施など、学内外に対して情報を発信する「広報」、展示内容に関する Web ページ作成を行う「Web」、会場の作品配置や演出を行う「会場設計」、活動を記録し目に触れる形でアーカイブ化する「記録」等の班に分かれて運営を行っています。会期中は、説明員を常に配して作品解説やアンケートを行っており、会期初日には各メディア関係者を招いたレセプションを実施しています。会期後は回収したアンケートを集計し、全体の反省点をまとめることで次回以降の制作展の更なる質の向上を目指しています。

# 東大生がつくる アートの祭典

# オープニングレセプションのご案内

(ギャラリーツアー・懇親会)

開催日時：2009年12月3日(木) 17:30～

集合場所：東京大学 本郷キャンパス 福武ホール

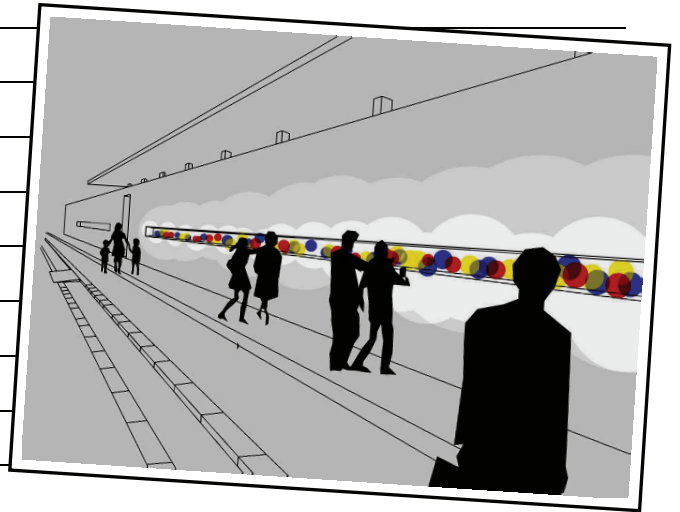
17:30 福武ホール テラス

18:00 工学部2号館2階展示室

18:30 工学部2号館92B教室

19:00頃 懇親会

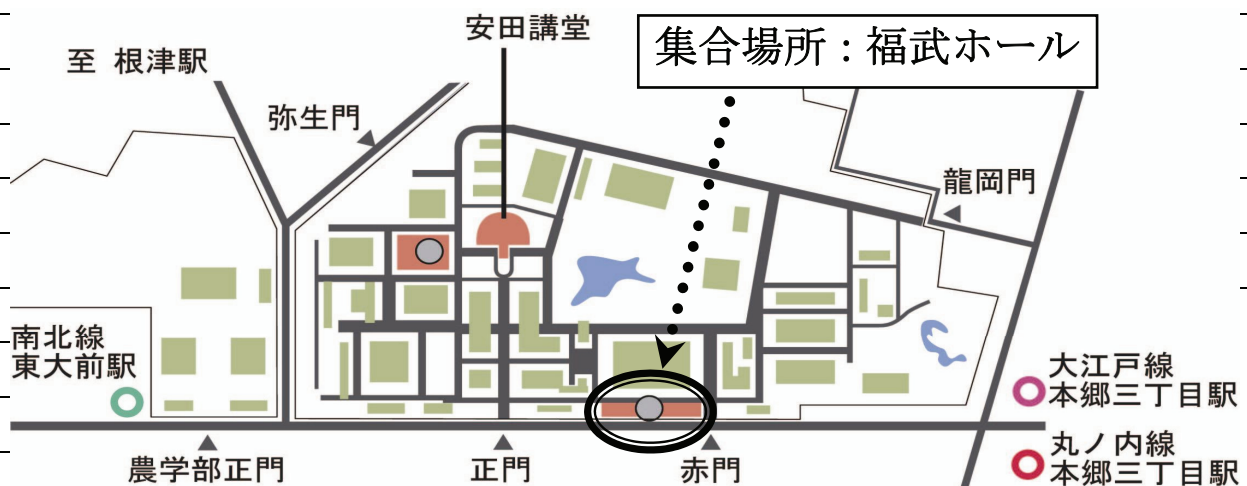
※途中からでもご参加いただけます。



2009年12月3日(木) 17:30よりオープニングレセプションを行います。アーティストでもあり、担当教員である鈴木太郎(講師・特任助教)と作家達が各会場を巡り、作品を1点ずつご紹介致します。その後、作家や担当教員との懇親会を開催いたします。

オープニングレセプションで皆様にご覧頂く作品は、情報学環・学際情報学府のシンボルでもある福武ホールの「考える壁」を利用した作品、「ひかりのあしあと」です。「ひかりのあしあと」は特定の作家が作ったものではなく、来場者参加型の作品です。この作品をお越しいただいたプレスの方々に制作していただくところから、オープニングレセプションがスタートします。

会期中、来場者の方には様々な色のLEDをお配りします。お渡ししたLEDを福武ホールの「考える壁」のスリットに設置した「ひかりのあしあと」の好きな場所に挿していただくと、LEDが点灯します。来場者の方々が思い思いの場所に挿したLEDが「ひかりのあしあと」の一部として残り、会期中の福武ホールを明るく照らします。



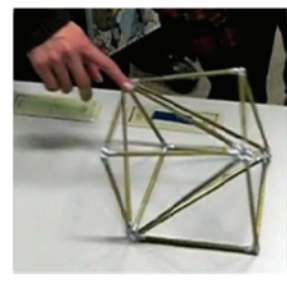
1



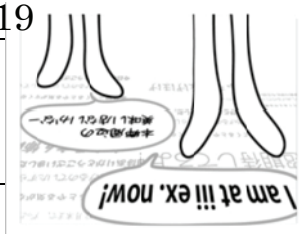
3



4



19



# 作品介绍

5



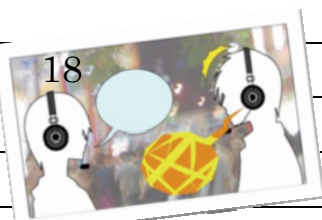
6



7



18



- 0. 《ひかりのあしあと》
- 1. 《Archi/e Machina》 牛込陽介+新山龍馬
- 2. 《あなごさん》 平山遊喜
- 3. 《コムルバリアルタイム検索チャットシステム》 足立 博

17



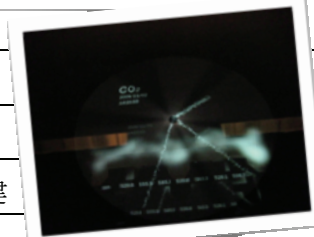
- 4. 《SimJelly》 栗山貴嗣+和田拓朗
- 5. 《電化しっぽ》 roomoot
- 6. 《without definition》 甲元賢治
- 7. 《Tiny Dreamy Stories》 山田啓己

8



- 8. 《夢、もしくはシュールな現実》 秦 恵美里
- 9. 《呼吸する制作展》 成谷峻 + ソンヨンア + 橋田朋子 + 苗村健

9



- 10. 《鯨》 田中ゆり
- 11. 《melting point》 山本智也+坂本大幸
- 12. 《おりがみらいふ》 林泰子+笈康明+苗村健
- 13. 《ジャポッポ》 貴田達也

15



- 14. 《ほたるのたわむれ》 山中 広紀
- 15. 《スパークノート》 佐藤 宏樹
- 16. 《FloatyCreature》 和田拓朗+苗村健
- 17. 《The Shadow Man》 池畑諭

10



14



- 18. 《Urban Voxibration》 櫻井 翔
- 19. 《あしもとをみて》 岡村聡介+鈴木友博

11

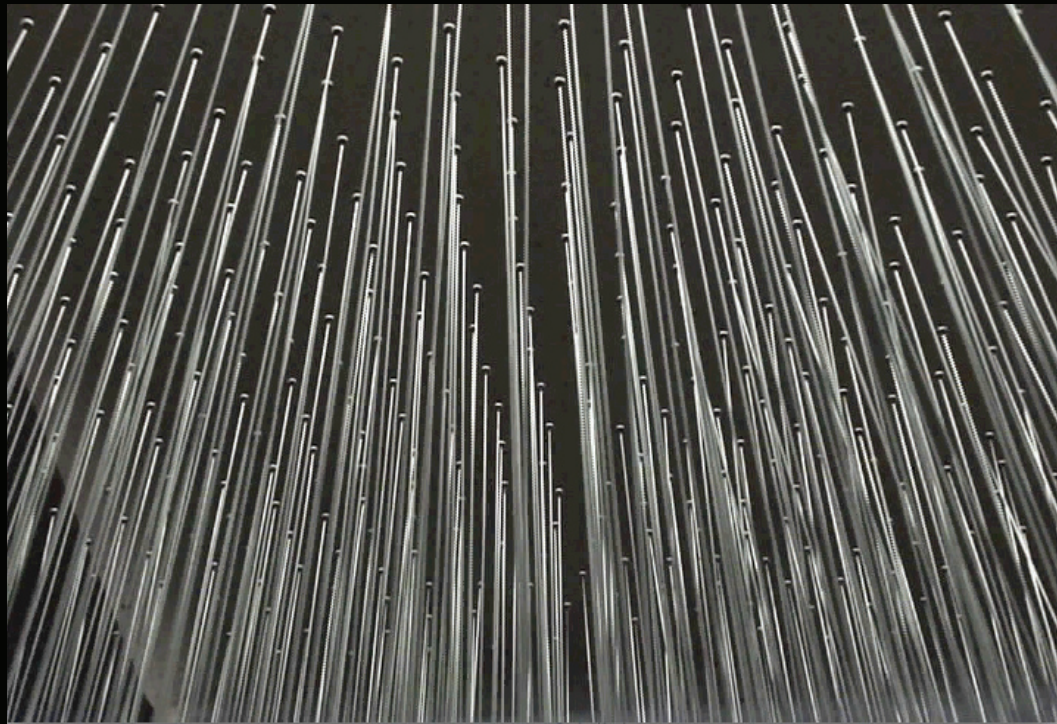


13



12





11. 《melting point》

山本智也+坂本大幸

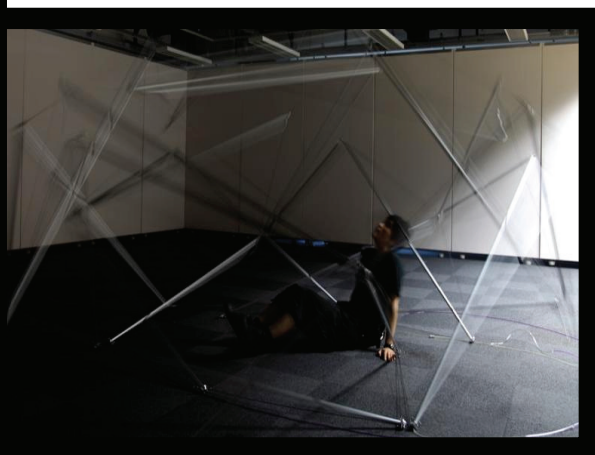
すべてはゆるやかにつながっていると思う。

ときに逆らい、ときに寄り添いながら。

そんな風景のなかに溶け込んでいくようなもの。

# 美大ではなく、東大だからできる表現

制作展には様々なバックグラウンドを持った作家達が集まっています。それぞれの作家が「夢 見てますか」をテーマに自分の夢を具現化し、表現します。作家の数だけある表現。しかしでもそれは芸術のみを学ぶ人のそれとは異なり、どれも専門的な知識があるからこそ可能な表現ばかりです。他ではみられない作品を是非会場でご覧ください。



1. 《Archi/e Machina》

牛込陽介 + 新山龍馬

メディア技術が空間的に拡がった未来、建築はそれ自身生き物のようにふるまうかもしれません。この作品は、そうした「生物的なインタラクティブ建築」のプロトタイプです。人間の動きによって形を変える様子から、情報化した建築と人間との関係が再考させられます。

7. 《Tiny Dreamy Stories》

山田啓己

ページを開けば、そこは小さな森の世界。キャラクターが動き音楽が奏でられる魔法の絵本です。ページの順番を入れ替えることで、ストーリーが様々な変化します。あなただけの小さな夢の物語を紡いでみてください。



## 第11回 制作展ホームページ

各作品の紹介、過去のアーカイブ映像などをご覧頂けます。

<URL> <http://i3e.iii.u-tokyo.ac.jp/>

## Creator's Arena

BIGLOBE様のサイトで過去の制作展の作品が紹介されています。

また、作家のインタビューも掲載しています。

<URL> <http://creators.biglobe.ne.jp/arena/>

## 教員紹介

・荒川 忠一

東京大学院学際情報学府 教授 制作展担当教員

東京大学大学院工学系研究科 教授

・鈴木 高宏

東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 准教授（先端表現情報学コース長）

生産技術研究所 機械・生体系部門

・鈴木 太朗

東京大学大学院情報学環（講師・特任助教）

## お問い合わせ

第11回 制作展報担当窓口

<TEL> 090-3049-2090（広報担当 平山）

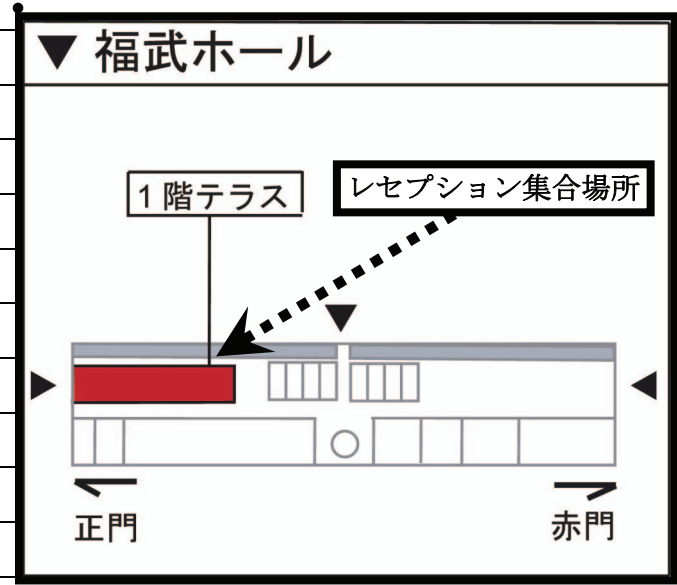
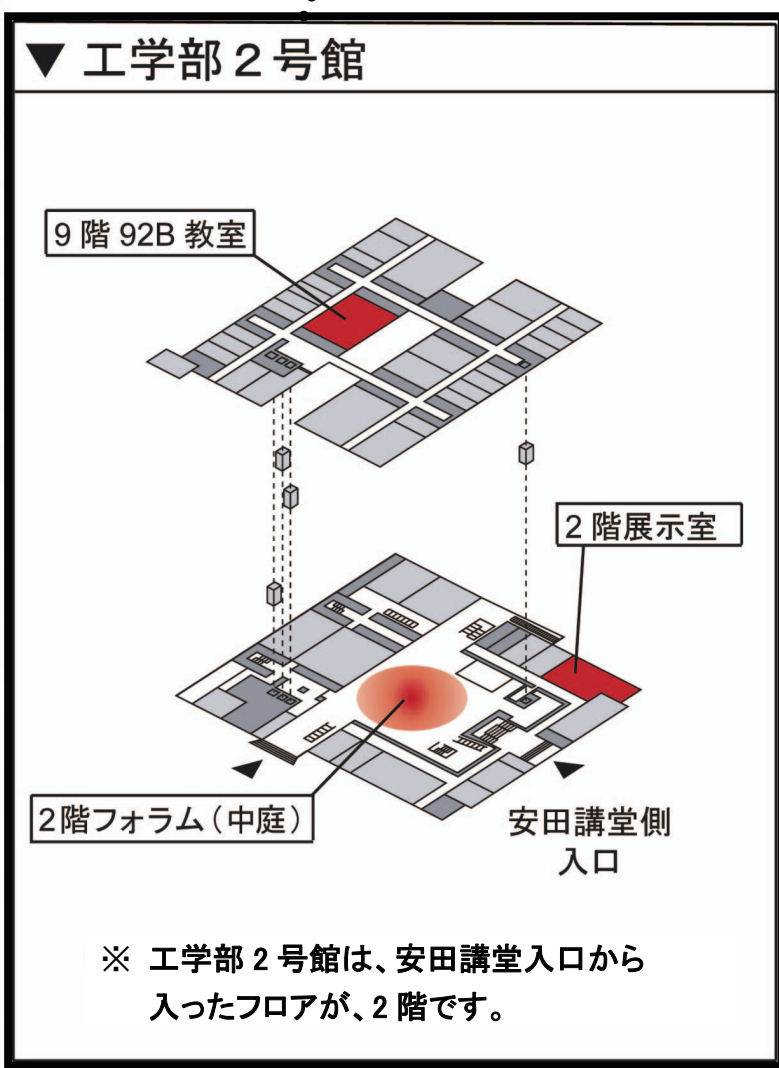
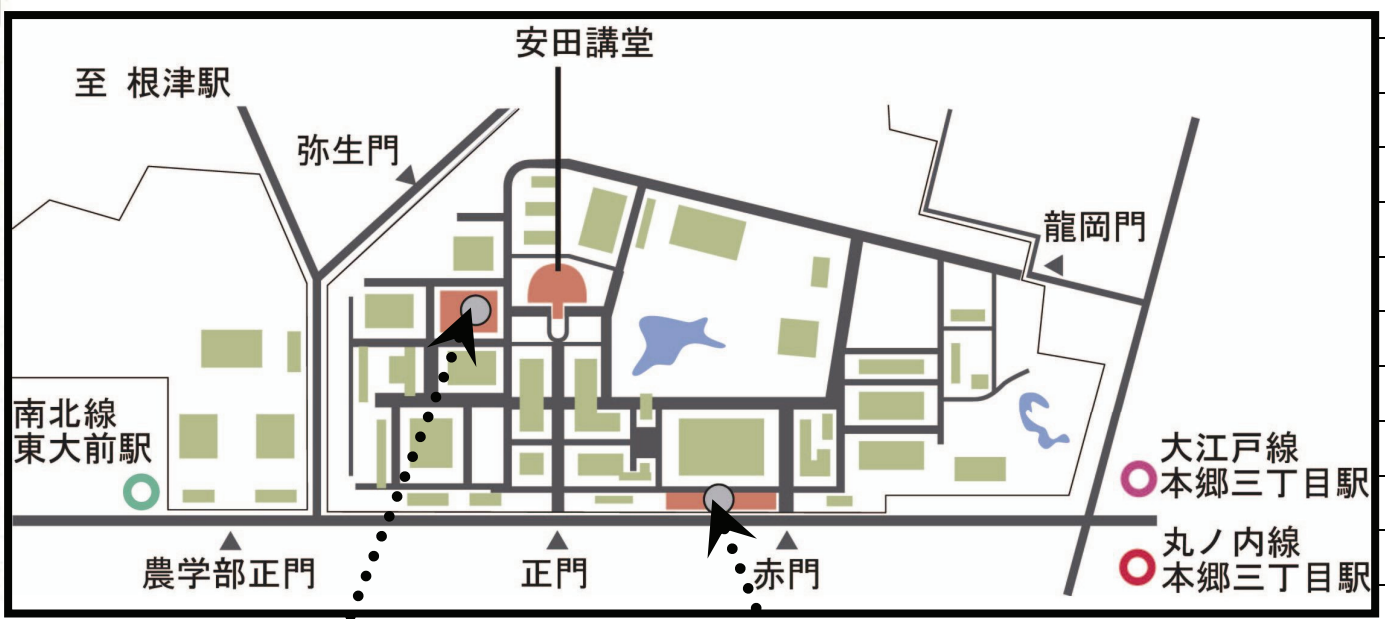
<e-mail> [i3e@iii.u-tokyo.ac.jp](mailto:i3e@iii.u-tokyo.ac.jp)

※電話でのお問い合わせは報道関係者の方に限らせていただきます。

主催：東京大学大学院 情報学環・学際情報学府

夢見えますか？

# 第11回 制作展 会場案内図



オープニングレセプション

開催日時：2009年12月3日(木) 17:30-

集合場所：東京大学本郷キャンパス 福武ホール

17:30	福武ホール
18:00	工学部 2号館 2階展示室
18:30	工学部 2号館 92B 教室
19:00 頃	懇親会

※途中からでもご参加いただけます。